



図書館だより



2023年2月号 NO. 399

北茨城市立図書館

茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16

新春特別企画「百人一首 推し歌投票」結果発表！！

1/4～1/12の期間限定で開催していた新春特別企画「百人一首 推し歌投票」！
たくさんの方のご参加いただき、本当にありがとうございました。
投票数230票の中から、上位5首に選ばれた歌を発表します！！

第1位 管家 (菅原道真) 23票☆

このたびは
ぬきもとりあへず
手向山
もみちのにしき
神のまにまに

このたびの旅は、あわ
ただしく出発し、奉納の
幣も用意できませんでし
た。この手向山の紅葉を
幣としてお受けくださ
い。



江口孝夫著『百人一首の散歩』より引用。

第2位 小野小町 20票☆

(花のいろはうつりにけりないたづらに わが身よにふるながめせしまに)

第3位 紫式部 11票☆

(めぐりあひて見しやそれともわかぬまに 雲がくれにし夜半の月かな)

第4位 平兼盛 10票☆

(しのぶれど色に出にけりわが恋は 物や思ふと人のとふまで)

第5位 崇徳院 9票☆

(瀬をはやみ岩にせかる、滝川の われても末に逢はむとぞ思ふ)

お正月らしい華やかな企画で、利用者の方からも大変ご好評いただきました。
ご参加くださったみなさま、本当にありがとうございました！！

By ミカゲ

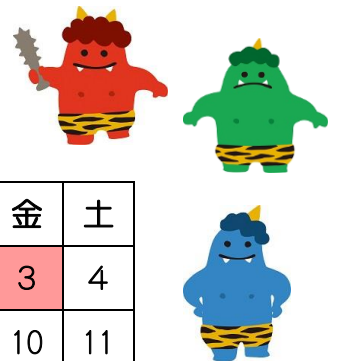


《 図書館カレンダー 》



= 休館日です。

★ 開館時間：午前9時30分～午後6時 ★
★ 2023年2月 ★ 3月 ★



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

★ YABOOKご紹介 ★

「カプチーノ・コースト」

一般書 913.6 カタ 片瀬 チヲル／著 株式会社講談社

会社を休職中の早柚（さゆ）は、どこか生きづらさを感じながら日々を過ごしていた。そんな早柚がふらりと訪れたのは近所の浜辺。海には様々な漂流物が打ち上げられていた。金色のボタン、王冠に歯ブラシ、お菓子の袋にルアーの針…。かつては誰かのものだった漂流物を拾い集めていくうちに、早柚は様々な人々と出会い、話し、そして考えていく。休みが終わるその時に、早柚が思うこととは…。

作中では、様々な人が海を訪れます。一緒に漂流物を拾う人。なぜ拾うのか意味を問う人。漂流物を認識していない人。自分のいらないものを置いていく人。海で得られた繋がりは一期一会。名前も素性も知らないからこそいられる人と人との距離感が、海の静かな波音のように心地よいと感じられる一冊でした。

by れおん



図書館員のひと一言

『捨てない生きかた』 五木寛之著 マガジンハウス (914.6イ)

「捨てなくていい----何年も着ていない服、古い靴や鞆、本、小物…
愛着ある「ガラクタ」は人生の宝物である。」



ここ数年、「断捨離」という言葉が私たちの生活に定着しています。家の片づけイコール、物を捨てること。ともすれば、捨てることが善、捨てないことが悪ととらえがちな昨今です。「え？何年も着てない服？そんなもの取っておいてどうするの？」と思わず言う方も多いでしょう。でも、その一方で、「物を捨てられない」という人がたくさんいるから、物の捨て方を書いた本が多く出版されているのではないのでしょうか。そんな中で、捨てることが苦手な私は思わずこの本を手に取りました。

著者の五木寛之さんは、物をめったに捨てないそうです。1950年代に買ったけれど派手で履かなかったスエードの靴も、かかとの高いロンドンブーツも一度も履かないままとってあるそうです。その理由は、モノには、手に入れたときの感情と風景、そして数年、数十年とともに時を過ごしてきた<記憶>が宿っているからなのだから。

一方で、五木さんは、「捨てる」ということに反対しているわけでも、物を捨てるなというメッセージを発信するつもりはないと言います。ただ、今の日本人は、90歳まで生きる覚悟をしなければならぬのに、最も大切な60歳からの30年を中心とした人生の指針、人生観がまだできていないと。そして「捨てない生き方」にそのヒントはあるのではないかと…。そのヒントとは何でしょうか？

1932年生まれ、今年91歳になる五木寛之さんからのメッセージです。

by ビクトリア



◇「身のまわりの水のはなし」◇

一般書 571 冊 斎藤恭一／著 朝倉書店

身のまわりでいちばん身近ながら化学的、生物的に非常に重要な「水」に焦点を当て、研究されていることや科学的な視点から見た水を筆者の研究体験を交えて紹介している。

環境分野の大学の講義の内容がほぼそのまま紹介されているので、理系の大学に進学を考えている君や環境や食品、医療分野に興味がある人はぜひ、一足先に読んでみてほしい一冊。

ちなみにこの名前の意味が何となくわかったら、化学のテストはたぶん大丈夫。

by ジヒドロゲンモノオキシド



◇「いちばん大切な食べものの話」◇

児童書 610 冊 小泉武夫・井出留美／著 筑摩書房

大変です！私たちが日頃食べているラーメン・カレー・お寿司・パスタ・・・これらの食べものが近い将来無いなんて時代がくるかもしれないのです。それは、食料自給率の低い日本が多くの食料を輸入に頼っているからなのです。

この本は、その危機を回避するヒントや、牛肉にも劣らない栄養のある日本食材の素晴らしさを紹介しています。今、若者にユーチューバーが人気ですが、これからは、命を育む「食」に関わる仕事がスターになるかも・・・！？

by フィナンシェ



◇「色といどいのぼくのつめ」◇

児童書 E10 アリシア・アコスタ／文 ルイス・アマヴィスカ／文 ガスティ／絵 石井睦美／訳
光村教育図書

マニキュアに夢中な〈ぼく〉。〈ぼく〉のことを「マジ 女の子！」とからかう学校の子。マニキュアをぬることが大好きなのに、だれかに笑われるのはいやだ！
かなしい気持ちになっていた〈ぼく〉だけど、サプライズが！！

好きなことをのびのびとできることってすてきなことですね。

by チョビコ



◇「スリー」◇

児童書 E571 スティーヴン・マイケル・キング／文・絵 神野 三鈴／訳 イマジネーション・プラス

主人公のスリーは、3ぼんあしの犬です。

そんなスリーの毎日は、スキップしたり飛び跳ねたり。

自分の行きたいところに行くこともできます。

色々なところを散歩しながら、6ぼんあしや8ぼんあしの昆虫と出会い、

自分の足が3ぼんあしでよかったと感謝する毎日。

4ぼんなくても スリーはしあわせ。そして、しあわせなことをみんなに感謝しています。

スリーに感謝するきもちを持ち続けることの大切さを教えてもらったような気がします。

by アーキ



『おはなし会』のお知らせ

- 📍 図書館おはなし会 📍
2月1日(水)・8日(水)・15日(水)
午前10時～10時30分
- 👤 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🤗
2月11日(土) 午前10時～10時30分
- 📖 クーミンの英語のおはなし会 📖
2月19日(日) 午前11時～11時30分
- 📖 ぽっぽのおはなし会 📖
2月22日(水) 午前10時～11時
- 👤 メリアンさんの英語のおはなし会 🤗
2月25日(土) 午後2時～2時30分

すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。



親子体験教室「世界のボードゲームで遊ぼう！！」

- 期 日：令和5年3月11日(土)
- 時 間：午前の部 10時～12時
午後の部 1時30分～3時30分
- 定 員：各部10組(24名程度)
- 対 象：親子で参加できる方(小学1年生～6年生)
- 申し込み方法：カウンター又は電話等事前申し込み(先着順)



2月の企画展示紹介

1階展示コーナー

「あたらしい景色」

2階展示コーナー

「科学道」

